

医師・歯科医師は1年という短い期間で Master of Public Health (MPH) を取得できます。このコースは臨床研究を主導できるスキルを身に付けてもらうことを目的としたコースです。コース修了後は東北大学大学院医学系研究科医科学専攻博士課程（医学履修課程）の臨床分野に進学することを想定しています。このリーフレットでは同コースの利点を理解できるように Q & A 形式で想定問答を作成しました。

お尋ねします

Q そもそも Master of Public Health (MPH) ってなんですか？

MPH は専門職大学院で取得できる資格の一つです。骨格は公衆衛生学の範疇ですが、単にこれまでの疫学統計、予防医学といった狭い範疇にとらわれず、環境衛生、医療管理、ゲノム医療、臨床研究、医療倫理を含んだ包括的な医療システムを理解できる研究者であることを示す資格となります。

Q そうであればわれわれ医師・歯科医師が MPH を持つ具体的なメリットはなんでしょうか？

医師・歯科医師にとってのメリットは大きく2つになります。

● 将来大学あるいは研究機関での研究職を目指している貴方へ

当然そういった施設では研究を指導する立場に就くことになるでしょう。しかし研究指導者は単に専門的な医学知識があればいいという時代は終わりました。もちろん上述したような疫学統計や倫理に対しエキスパートになれ、ということではありません。研究指導者は研究に付随する様々な問題点に対し、その重要性を認識し、かつ問題がありそうな場合はその対応策を的確に指示できることが大事です。そのような教育を受けた者が MPH なのです。

● 将来大きな医療機関への勤務を考えている貴方へ

赴任して間もなくは日常の治療に追われ、やがて年数を経て病院を経営する役職赴任への可能性があることでしょう。地域の病院経営は地域ごとに様々な問題を抱えています。このときに若いときに履修した MPH の知識がきつと役に立つはずですが、もちろん履修時点から何十年も経た医療事情とは当然異なっているでしょう。しかし大事なことは「問題意識を持つこと」と「その解決のための方法論を知っている」ということです。MPH の修得は将来の病院経営にもきつと役に立つはずですが、

Q 将来開業医を考えています。であればあまりメリットはありませんね？

開業医ほど厚労省の医療政策に影響を受けやすい職種ともいえます。そういった中で厚労省の考える医療政策、そして将来の政策に対しての考え得る解析手法を身につけていることは、決して無駄ではないはずですが、更に開業医は地域の医師会に所属することになります。医師会は国や自治体の医療政策決定にかなり影響を及ぼす団体ですので、こういった中で活躍するときにも、MPH での経験は大いに役立つことになるはずですが、

Q 履修期間中、他の病院の医療支援は可能なのでしょうか。

実際の地域医療の現場をリアルタイムで体験してもらうためにも問題はありません。

Q 通常のMPHコースは2年間ということですが、医師・歯科医師は1年という期間で大丈夫なんでしょうか？

MPHは医療職だけではなく、医師ではない病院管理者や経営者、医事法を志す法律家、医療を担当するマスメディアなども対象としています。このような方々はまず医学・医療の基礎を学んでもらわねばなりません。しかし医師・歯科医師は基礎的な医学知識は身に付いていますので、短い期間での修得が可能です。

Q 実際の医学博士は4年という履修期間があります。もし博士課程に進んだ場合3年に短縮されるのでしょうか？

コースが違いますので自動的に3年になるということはありません。しかし所属は公衆衛生学分野となり、同時に進学予定となる臨床分野の指導も受けることとなります。この期間、大学病院臨床研究推進センターなどでの実習も経験し、臨床分野で行う予定の臨床研究プロトコルを作成します。従って、予定の臨床系の大学院に進学した場合に、既に作成した臨床研究プロトコルに沿って研究が実施できることとなります。医学履修課程では早期に論文受された学生さんには履修期間短縮制度（3年で修了）があります。本コースでは1年で論文作成のノウハウが身につく、場合によってはデータ収集まで可能な場合もありますので、ぜひこの制度を利用してください。

Q そのまま博士課程に進んだ場合、改めて入学金を払うのでしょうか？

同じ大学ですので、MPH取得後、そのまま博士課程に進学できれば入学金の支払いは不要です。

Q もっと知りたいことがあるのですが

1年コースの皆さんは公衆衛生学分野に所属することになりますので、まずはその扉をノックしてください。

専攻長のつぶやき



ある初期研修医との会話で、「私のように臨床医を目指す者には MPH は関係ないですよ」という質問があった。そこで「君のような研究志向が高い、あるいは医療に対し問題意識の高い医師にとって、将来を見据えれば極めてお勧めのコースである」、というアドバイスをした。もっとも、わが国では MPH そのものが聞き慣れないものであり、その意義が理解できないのも当然か、と思われた。そこでこのリーフレットは、医師・歯科医師向け、即ち臨床研究管理医養成1年コース対象者に特化したものである。大学院へ進む諸君は当然研究者の道を目指すだけではなく、さまざまな機関で指導的立場に就くはずである。そのためにもぜひ、最初に MPH を修得してほしい。

詳細情報はこちら

公衆衛生学専攻ホームページ <http://www.sph.med.tohoku.ac.jp/>

公衆衛生学分野ホームページ <http://www.pbhealth.med.tohoku.ac.jp/>

